

公共交通空白地域におけるNPO法人による過疎地有償運送事業（八幡浜市）

【取組概要】

路線バスが廃止、削減された地区において、地域住民の手でNPO法人を立ち上げ、住民主体による新たな輸送サービスを導入し、地域の公共交通を確保するとともに、家庭に閉じこもりがちな高齢者等が主体的にいきいきと生活できるよう支援。

【取組みの効果】

タクシー等を利用せざるを得なかった高齢者等の交通手段が確保されただけでなく、地域の公共交通を確保するためには、皆が利用することが継続の条件であるという意識が働いており、地域住民が互いに支え合うという住民の自治意識が向上。

【他団体へのアドバイス】

今後の更なる高齢化や人口減少を考慮すると、運転手や後継者の確保・育成、運営資金の確保等が課題。行政からの押し付けにならないように、地域住民が主体となって考えてもらえる仕掛けが必要。

【創意・工夫した点】

利害関係者であるタクシー事業者に配慮するため、区内を対象とするデマンド運行について地区外のタクシーと連結する形の共生を提案。利用することが事業の継続に繋がるとして、地区住民の利用の促進を徹底。

人口 38,400人
担当部署 総務企画部政策推進課



停留所での乗車の様子



路線運行における車内での様子